

2020年4月6日

社会学部生のみなさん

新年度のお願い

社会学部長 山田 容

例年ならば、この時期は新入生を迎え、サークルの勧誘や友との再会などにぎわいにあふれているキャンパスが今年は閑散としています。このような光景に接すると、寂しく、やるせない気持ちになってしまいます。

しかし、打ちひしがれてばかりはいられません。この状況下での最善の方策をとることが私たちに課せられています。みなさんのかけがえのない大学時代を守るために教職員もできる限りのことを模索していきます。非常事態なので上手く対処できないことも出てくるでしょう。そのような時は、相互に調整しつつ状況の改善をしていきましょう。この困難をともに乗り越えていくために求められているのは、闘う力ではなく共同です。

そこで、みなさんにもふたつのお願いがあります。

1. 学修について

◎「manaba course」で課題等を確認してください

大学にとって学生の学修の保証は最も重要な役割であり、その方法についての検討を進めています。できるだけ学修の質を落とさないように教員も対応していきます。

通常の教室での授業が延期となっていますので、各教員から manaba 等を通して、課題や指示が出されることになっています。履修登録をしたら manaba にアクセスをして、課題などの確認をしてください。

manaba へのアクセスについては、ポータルサイトからログインできます。manaba の利用方法については、以下のリンク先にて動画で説明をしています。

https://www.youtube.com/watch?v=80VzzY_JYC0&feature=youtu.be

オンラインを使った授業もあり、今後は増加することも考えられます。その際に重要となるみなさんの通信環境の問題や発信方法については、現在、検討しています。もれなくみなさんに情報が伝わり、安定した条件で授業ができるように努めていきます。

みなさんへの情報発信は、ホームページまたはポータルサイトで行いますので確認して

ください。ポータルサイトの利用方法については、以下のリンク先にて動画で確認することができます。

(<https://www.youtube.com/watch?v=aatOmzlKXng&feature=youtu.be>)

教職員も最善を尽くしますが、課題の設定や説明等の混乱が生じるかもしれません。その際は、教務課や manaba の機能を通して状況を教員に伝えて下さい。

2. 学内外での行動について

◎人との接触を極力避けて下さい ― 家にいて下さい

みなさんの健康が害されることは何より避けて欲しいことです。ただ、仮にみなさんには健康被害が出なくとも、みなさんを介してご家族や友人・知人、その他接触する人達に感染が広がることもあります。

もしルールや規範に従わない行動によって感染源になれば、さまざまな方法でプライバシーがさらされバッシングされるなど、日常生活や人生にも悪影響が出ることがあります。感染には自他ともにさまざまな危険性があることを常に意識して下さい。

感染予防には密閉、密集、密接を避けることが重要です。必要が無い限り学内には立ち寄らないようにし、事務的な問い合わせは電話（077-543-7760）や e-mail（shakai@ad.ryukoku.ac.jp）を原則としてください。なお、必要な情報はホームページまたはポータルサイトに掲載していますので、まずは確認してください。

学内外で人と接触する際は換気に気をつけ、できるだけ距離をとって下さい。もちろん可能な限りマスクを着用して下さい。これは教職員と話す際にも同様です。やむを得ず教務課に行く場合もカウンターから離れて会話をして下さい。人が並んでいる場合は、前後の距離をとって下さい。教職員の配慮が足りなければ、遠慮無く学生側から伝えて下さい。密室での会話など、教職員の行動に問題があれば教務課等に申し出て下さい。

学外においても、旅行や他者との飲食、宴会等は当面は行わないで下さい。

昨日、大学の近くにあるショッピングセンター「フォレオ大津一里山」でも感染が報告されました。もう身近なところまでウイルスは迫っています。

人と交流したい気持ちはよくわかりますが、いつか安心して気兼ねなく楽しめる日が来ますので、今は控えましょう。

おわりに

教職員も、一日でも早くみなさんの笑顔を見たいと願っています。大学で働く者たちにとって、学生のみなさんとの交流や成長を実感できることこそがやりがいであり、そのような条件、環境を作ることが使命です。

みなさんも、人と社会のつながりを考える社会学部生として、自分と他者、社会全体を守るために社会的な責任を自覚し、それぞれの行動がもたらす影響力を認識した行動を取って下さい。

やわらかくともつながりつづけること、できることで支え合うことが心身の健康を保つ力になります。今の状況は必ずいつか収まりますので、少しでも充実した大学生活が保てるように力を合わせていきましょう。